

第 23 回 静岡チャレンジド・サッカーフェスティバル募集要項

【静岡県知的障害者サッカー選手権大会】

兼 第 15 回日韓知的障害者サッカーフェスティバル選手選考会

＜大会理念＞

- I サッカーをとおして、スポーツの楽しさ・厳しさを体験することで、知的障害者の自立と社会参加の可能性を探る。
- II 大会を行うことで、知的障害者とそのスポーツ活動に対する社会一般の理解と認識を深めるとともに、知的障害者のサッカー競技レベルの向上と普及を図る。

大会実施要項

- 大会名 第 23 回静岡チャレンジド・サッカーフェスティバル 【静岡県知的障害者サッカー選手権大会】
兼 第 15 回日韓知的障害者サッカーフェスティバル選手選考会
- 主催 一般財団法人 静岡県サッカー協会
- 主管 一般財団法人 静岡県サッカー協会チャレンジド委員会
- 後援 静岡県、静岡県教育委員会、公益財団法人 静岡県障害者スポーツ協会、
静岡県特別支援学校長会、静岡県手をつなぐ育成会、静岡県知的障害者福祉協会
- 特別協賛 公益法人 アサヒ健康振興協会、農業生産法人 アサヒ健幸ファーム
株式会社 ケネリック、農業特区特定認定法人 サピコーポレーション
株式会社 サンコルネット、聖隷クリストファー大学
聖隷クリストファー大学大学院博士前期課程（修士課程）・博士後期課程
聖隷クリストファー大学介護福祉専門学校、聖隷クリストファー中・高等学校
聖隷クリストファー大学附属こども園、社会福祉法人 聖隷福祉事業団
- 協力 HMI つま恋リゾート 彩の郷／株式会社 旭ビジョン
- 大会期日 令和 7 年 5 月 25 日（日）
- 大会会場 つま恋リゾート彩の郷グラウンド
- 参加資格 ①令和 7 年 4 月 1 日現在で満 13 歳以上の知的障害者で構成されているチーム。中学校、特別支援学校のクラブ、施設や作業所のチーム、地域クラブ等、チームの母体は問わない。

②選手・スタッフ共にスポーツ障害保険に加入していること。

③1チームの人数は、選手18名とする。

④大会本部が参加を認めるチーム

※本大会への参加を希望する方については、開閉会式、競技中において、大会本部より許可された報道関係者における新聞やテレビ放映のための写真撮影、VTR撮影等についてのことを了承した上で参加申し込みをお願いします。ただし、個人写真の使用、個人に対してのインタビュー等については、事前に承諾の確認を取ります。

運営方法 富士山カップ（一般、高校）、駿河カップ、浜名湖カップの4カップ戦を行う。各カップの参加基準ないが、富士山カップについては、2024年度（公財）日本サッカー協会競技規則に沿って行うことができるチーム、駿河カップについては、ほぼ2024年度（公財）日本サッカー協会競技規則に沿って行うことができるチーム、浜名湖カップについては、8人制の試合とし、ルールについては11人制で行うが、参加チーム同士の話し合いの上でルールの変更が可能なチームの参加が望ましい。

1 競技規則

令和7年度に適用の全国障害者スポーツ大会競技規則によるもののほか、この要領に定めるところによる。

（参考）令和6年度全国障害者スポーツ大会競技規則 サッカーの部

第1条 原則

本規則に定める以外は、同年度（公財）日本サッカー協会競技規則による。

第2条 競技者の数

1チームの編成は18名以内とし、男女を問わない。

第3条 競技時間

富士山カップの試合時間は一般20分-5分-20分、高校生20分-5分-20分、駿河カップ、浜名湖カップの試合時間は、10分-5分-10分とします。

※参加チーム数により競技時間の変更あり

2 チーム

チーム編成は、監督1人、コーチ2名、付添者2名及び選手18名（男女混合可）の合計23名以内とする。付添者については本部に申し出て許可を得る。

3 競技方法

（1）各カップの試合はリーグ戦を行い、その結果により順位決定戦を行う。ただし、参加チームが少ない場合は、全チームによるリーグ戦を行う。また参加チームが多い場合はトーナメント方式で行う場合もある。

（2）リーグ戦の順位決定は勝ち点（勝ち3点、引き分け1点 負け0点）、得失点、総得点、該当チーム同士の対戦結果により順位を決定する。すべて同じ場合は当該チームの代表によ

る抽選とする。順位決定戦及びトーナメントについては、試合が終わり同点の場合はPK戦を行う。各カップの決勝戦は各チーム5人によるPK戦を行い、同点の場合は一人ずつ勝敗が決まるまで行う。各カップ戦の決勝以外は3人によるPK戦を行う。

- (3) 試合球は5号検定球とする。
- (4) 選手の交代については、試合前に登録した7名の交代要員の交代が認められる。なお、この大会は自由な交代とし、交代して退いた競技者が交代要員となって再び出場できる。その際の選手交代は、第4の審判員のチェックを受け主審の承認を得た後行う。
- (5) テクニカルエリアを設ける。監督等チーム役員は、その都度1名がテクニカルエリアから戦術的指示を与えることができる。全てのチーム役員は、その中にとどまる。また、責任のある態度で行動する。

4 表 彰

- (1) 各カップ1位にトロフィと賞状、2, 3位に賞状が贈られる。

5 開閉会式

- (1) 開会式(8:30~8:40)

- ・開会の言葉
- ・大会会長挨拶
- ・来賓あいさつ
- ・来賓紹介
- ・競技上の注意
- ・選手宣誓
- ・閉会の言葉

- (2) 閉会式(15:00~15:15)

- ・開会の言葉
- ・成績発表
- ・表彰
- ・講評
- ・閉会の言葉

※試合数の関係で、閉会式の時間変更があります。

6 召 集

- (1) 富士山カップについてはメンバー表(監督1名・コーチ2名・選手18名、付添者2名の合計23名)は、試合ごとに試合開始30分前までに各会場本部に提出すること。(用紙は各チームで用意すること)

※駿河カップ、浜名湖カップについては、この限りではない。

- (2) 召集開始時刻は原則として開始5分前とする。

7 服装

- (1) チームは会場に色彩の異なり判別しやすいフィールドプレーヤ・ゴールキーパーそれぞれ正・副2組のユニフォームを持参しなければならない。背番号は1番から18番までの通し番号が望ましい。
- (2) フィールドプレーヤーがゴールキーパーと交代するときは、もと着ていたユニフォームと同じ背番号を使用する。その際、ユニフォームの用意がないときは、ビブス（各チームで用意）で代用することができる。

8 申し込み方法

別紙申込用紙に必要事項を書き込み申し込み先へメールにてお送りください。

<事務局>

〒431-2102

浜松市浜名区都田町 199-2

静岡チャレンジド・サッカーフェスティバル事務局 田中敏美

TEL090-2618-5243

E-mail ma-ri-tanaka@rx.tnc.ne.jp

※メールで参加希望等、知らせて頂ければ、様式(申込用紙)を送ります。

10 申し込み締め切り

令和7年4月18日（金）

11 その他

- (1) 開会式前の監督者会議の場において、申し合わせ事項を設ける場合があります。
- (2) 各チームのベンチは、組合せ表の若い番号になったチームがグラウンドに向かって左側とします。
- (3) 大会（競技）に関する不明な点は大会本部にお問い合わせください。
- (4) 荒天時等の取り扱いは、主催者において別途定めます。
- (5) 大会中のけがについては、応急処置については大会本部で行いますが、病院の手配、保険（加入も含め）などの対応については各チームで対応してください。
- (6) 審判の有資格者の帯同をお願いします。参加申込書に帯同審判の氏名、級等の記入をお願いします。
- (7) チャレンジド委員会運営協力金
チャレンジド委員会運営協力金として1チームにつき3,000円をお願いします。
- (8) 大会中は、指導者、競技者ともに、JFA行動規範の沿った行動を行う。

【JFA サッカー行動規範】

- 1 最善の努力 どんな状況でも、勝利のため、またひとつのゴールのために、最後まで全力を尽してプレーする。
- 2 フェアプレー フェアプレーの精神を理解し、あらゆる面でフェアな行動を心がける。
- 3 ルールの遵守 ルールを守り、ルールの精神に従って行動する。
- 4 相手の尊重 対戦チームのプレーヤーや、レフェリーなどにも、友情と尊敬をもって接する。
- 5 勝敗の受容 勝利のときに慎みを忘れず、また敗戦も、誇りある態度で受け入れる。
- 6 仲間の拡大 サッカーの仲間を増やすことに努める。
- 7 環境の改善 サッカーの環境をより良いものとするために努力する。
- 8 責任ある行動 社会の一員として、責任ある態度と行動をとる。
- 9 健全な経済感覚 あらゆる面で健全な経済感覚のもとに行動する。
- 10 社会悪との戦い 薬物の乱用・差別などのスポーツの健全な発展を脅かす社会悪に対し、断固として戦う。
- 11 感謝と喜び 常に感謝と喜びの気持ちをもってサッカーに関わる。